

受験番号	
------	--

2020 年度大阪府・大阪市・堺市・豊能地区公立学校教員採用選考テスト

中学校 美術 (3枚のうち1)

得点	
----	--

3

(1)	エコール・ド・パリ(パリ派)	/	
(2)	ノートルダム大聖堂	ユトリロ	/
(3)	ゴシック様式(ゴシック建築またはゴシックでも可)	/	
(4)	クロード・モネ (モネでも可)	/	
(5)	/	/	
(6)	国立西洋美術館	/	
(7)	/	/	
(8)	<p>観点 「作者の連作による表現の追求」に関する記述 キーワード例 モネは、「<u>睡蓮</u>」(連作名)など、<u>一つのモチーフを</u> <u>戸外で視点を変えずに描いて何枚もの絵を完成させるという独自の</u> <u>方法「連作」を生み出した。時間や季節によって、刻々と変わる光</u> <u>と色彩の変化</u>を追求し、その自然の<u>一瞬の美しさ</u>を表現した。</p> <p>観点 「作者について」及び「作者の表現の特徴」に関する記述 キーワード例 1 <u>印象派</u> 2 <u>作者に関するエピソードなどについての記述</u> 「モネの『印象・日の出』の作品より「印象派」という呼び名が 生まれる」「妻カミーユのエピソード」「日本趣味」など。 3 <u>作者の表現の特徴についての記述</u> 「素早い筆致」「風景画」「影と断片の効果」「時間の流れ」など</p>	/	

受験番号

2020 年度大阪府・大阪市・堺市・豊能地区公立学校教員採用選考テスト

中学校 美術 (3枚のうち2)

4

得点

(1)

題材名 「生命を感じる姿を立体に表そう ～針金、粘土、絵の具を組合わせて～」	
題材設定理由	<p>中学校学習指導要領〔第2学年及び第3学年〕のA表現(1)ア(ア)では、対象や事象を深く見つめ感じ取ったことや考えたこと、夢、想像や感情などの心の世界などを基に主題を生み出し、単純化や省略、強調、材料の組合せなどを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練ることができるよう指導することが求められている。生徒には、「B鑑賞」の内容も関連させながら、第1学年において学習した自然をはじめとする身近な事物に加え、自己の内面や心の世界を深く見つめ、感じとったことや考えたことなどから「生命を感じる姿」を立体に表すことについて考えてほしい。</p> <p>生徒は、美術の鑑賞や作品制作に意欲的に取り組み、デッサンやスケッチなど目に見えているものごとを忠実に表すことを得意とする生徒が多数いる一方で、目に見えない生命感などから生じた思いや考えを深く見つめて主題を生成することについては、苦手意識をもっている生徒も存在する。</p> <p>指導に当たっては、外見などには表れないそのものの本質について生徒自身の体験や心情から想像することができるよう、B鑑賞との関連を図って、生命を感じさせる形や色彩などの特徴やイメージについて理解させ、題材への関心を高めるとともに、ワークシートをもとに、身の回りの様々な事象に着目し、感じ取ったことや考えたこと、夢や想像、感情などの心を動かされものや表したいことなどから主題を生み出し、針金、粘土、絵の具を組合わせ、材料の特性を生かして創造的な表現の構想を練ることができるようにしたい。</p>
題材の目標	<ul style="list-style-type: none">・生命を感じる形や色彩の造形的な特徴などを、全体のイメージでとらえることを理解する。・針金、粘土、絵の具を組合わせ、意図に応じて自分の表現方法を追求して表すことができるようにする。・感じ取ったことや考えたこと、心を動かされたものや表したいことをもとに主題を生み出し、表現の構想を練ることができるようにする。・美術の創造活動の喜びを味わい主体的に生命を感じる姿を立体に表す表現や鑑賞の学習に取り組もうとする。

受験番号

2020年度大阪府・大阪市・堺市・豊能地区公立学校教員採用選考テスト

中学校 美術 解答用紙 (3枚のうち3)

(2)

時	学習活動および内容	
第1時 ～2時	課題の把握 と発想・構想	<p>【例】</p> <p>○「生命を感じる姿」と感じさせる形や色彩などの特徴やイメージについて理解し、題材への関心を高める。</p> <ul style="list-style-type: none">・「生命を感じる姿」を感じさせる形や色彩などの例をプロジェクターを活用して鑑賞し、その特徴やイメージについて理解させ、題材への関心を高める。 <p>○「生命を感じる姿」というテーマから主題を生み出し、単純化や省略、強調、材料の組合せなどを考え、創造的な構成を工夫し、イメージ豊かに表現する構想を練る。</p> <ul style="list-style-type: none">・ワークシートをもとに、身の回りの様々な事象に着目し、感じ取ったことや考えたこと、夢や想像、感情などの心を動かされたものや表したいことなどから主題を生み出し、針金、粘土、絵の具を組み合わせて、材料の特性を生かした創造的な表現の構想を練る。

(3)

<p>「努力を要する」と判断した生徒の具体的な状況 構想が止まってしまい、アイデアスケッチ等が進んでおらず、「生命を感じる形」というテーマから主題を生成することが難しい。</p>
<p>「努力を要する」と判断した生徒への指導方法の工夫 「生命を感じる形」と感じさせる形や色彩などの例の中から、心に留まった内容に気付かせる。その内容のもつ形や色彩に着目し、身の回りの様々な事象に置き換えさせる。それは、日常の生活から生まれる場合もあれば、創造の世界から生まれる場合もある。生徒ときめ細かに対話することで、自ら主題を引き出させる指導を行う。</p>